

光ミュージアム | 光記念館

HIKARU MUSEUM

光記念館





太刀 銘康次
康次
鎌倉時代（建暦頃）

太刀 銘康次
康次
鎌倉時代（建暦年間）, 1211-13

1955年2月国宝指定。

室町幕府15代将軍足利義昭が薩摩の太守島津義久に贈ったものと伝えられています。

1955年2月指定為國寶。室町幕府15代將軍足利義昭，將此刀贈予薩摩國太守島津義久。

飛騨高山の市街地にあるミュージアムです。建物はマヤ文明の遺跡を彷彿とさせ、展示室は美術、歴史、自然史に分かれています。国宝「太刀 銘 康次」を含む約2,000点の美術品を所蔵しています。近代日本画は、横山大観、上村松園、鏑木清方など、浮世絵は、葛飾北斎「富嶽三十六景」歌川広重「東海道五十三次」「名所江戸百景」の他、肉筆浮世絵を多数所蔵し、さらにゴッホやモネ、ルノアールなどの西洋絵画コレクションがあります。中でも手島右卿をはじめとした現代書が充実しております。歴史ではマヤ、インカを中心に世界各地の資料、自然史では飛騨地域の化石や恐竜模型の展示をしています。

位於高山市的光紀念館，建築物外觀形似馬雅文明遺跡，館內有美術、歷史、自然史等展覽室。館藏約有2000件美術品，包括國寶級作品「太刀 銘 康次」、手島右卿與弟子的多件現代書法作品。近代日本畫方面，收有橫山大觀、上村松園、鏑木清方等人的作品；浮世繪方面，收有葛飾北齋的「富嶽三十六景」、歌川廣重的「東海道五十三次」與「名所江戸百景」，以及其他多幅浮世繪手繪圖；西洋畫方面，收有梵谷、莫內、雷諾瓦等人的作品。館中另收有主要為馬雅、印加等世界各地歷史資料，並有自然史資料、飛騨地區化石、恐龍模型等的常態展示。



不二靈峰
横山大観
昭和 11 年頃

不二靈峰
横山大観
昭和 11 年, 1936

「富士を描くということは、つまり己を描くことである。己が貧しければ、そこに描かれた富士も貧しい。富士を描くには理想をもって描かなければならぬ。」と語った大観は、自画像を描くように自分の心象をこの霊峰に表しました。

横山大観説：「畫富士山，其實是畫自己映在富士山的心。以貧劣之心畫富士山，畫作也變得貧劣；一定要帶著高潔理想畫富士山。」横山大観如同繪作自畫像一般，在描畫的富士靈山上，表現了自己的心。



崩壊
手島右卿
昭和 32 年

崩壊
手島右卿
昭和 32 年, 1957

手島右卿の代表作。
サンパウロ・ビエンナーレ展に書として初めて出品され、世界の美術における書の芸術的価値を高めました。

手島右卿的代表作品。
本作品於聖保羅雙年展中展出，提升書法在世界上的藝術價值。



牡丹睡猫
速水御舟
大正 15 年

牡丹睡猫
速水御舟
大正 15 年, 1926

速水御舟は日光東照宮を訪れた際、左甚五郎（江戸時代の彫り物の名人）の作と伝えられる宮彫（宮殿や寺社などの欄間・柱などに施す彫刻）『眠り猫』に感銘して『牡丹睡猫』を描いたといわれています。

速水御舟深受日光東照宮中左甚五郎（江戸時代雕刻名師）作品「睡猫」所感動，而繪作此「牡丹睡猫」。



夏冬山水
川合玉堂
大正 10 年

夏冬山水
川合玉堂
大正 10 年, 1921

玉堂は常に写生を怠らなかつたが、風景画を描く場合は必ずしも実景でなく主観で描いています。左二曲は冬景色、右二曲は夏景色です。

川合玉堂並非遺漏風景勾勒，而是畫出基於實景的主觀印象圖。左二為冬景，右二為夏景。

市川鰈藏の竹村定之進
東洲齋写楽
江戸後期（寛政 6～7 年頃）

市川鰈藏之竹村定之進
東洲齋寫樂
江戸後期，1794-95

市川鰈藏は 5 代目市川團十郎のこと。竹村定之進は、不義の罪を犯した娘の身代わりに、秘曲道成寺を主君に伝授して切腹する能役者の役です。鰈藏の生き生きとした芸風が伝わってきます。

市川鰈藏是第五代的市川團十郎（著名歌舞伎派）。竹村定之進，是日本能劇演員，因女兒犯下不倫之罪，以切腹自殺方式贖罪。本作品展現畫者生動的作畫風格。



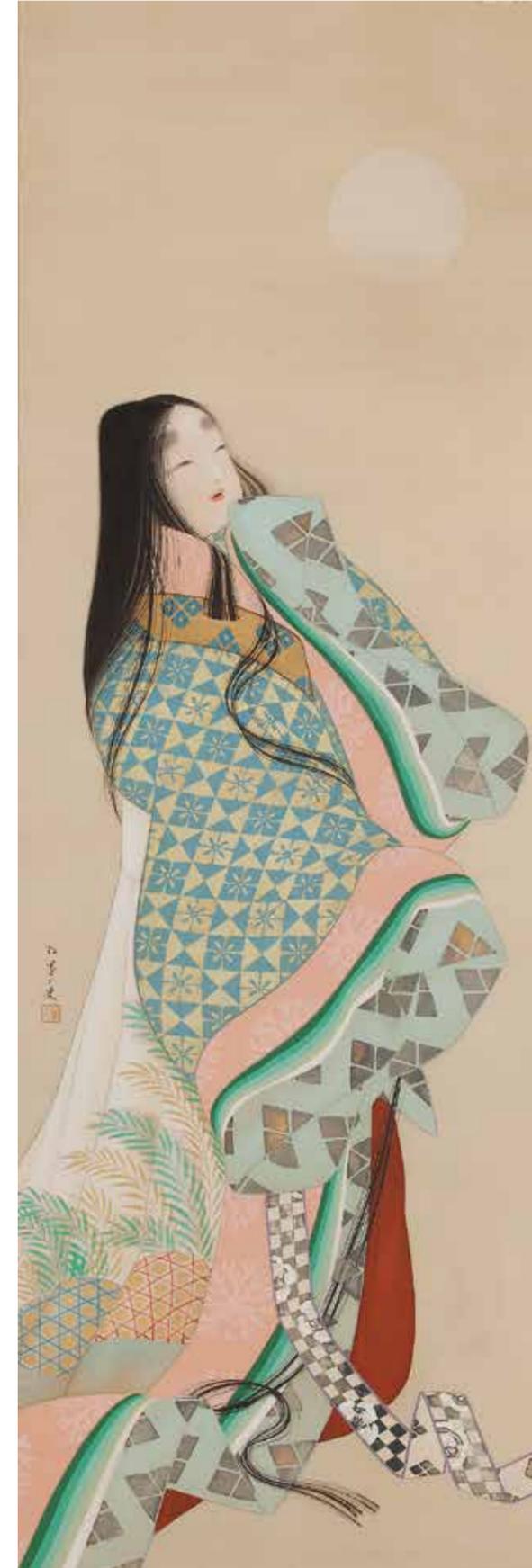


森の奥
グスタフ・クリムト
1881～82年頃

森林深處
Gustav Klimt (克林姆)
1881 - 82

クリムトにとって自然は静穏なイメージの源だといわれています。クリムト初期のこの作品の構図と陽光の描き方には、その後大きな風景画を描く際に展開した独特な様式の予兆を見ることができます。

克林姆的風景畫以沉穩祥和著稱。在這件早期作品中，已可預見他在大型風景畫中所展現構圖與描繪陽光等的獨特風格。



紫式部
上村松園
大正4～昭和4年頃

紫式部女士
上村松園
大正4年或昭和4年, 1915-29

紫式部は『源氏物語』の作者です。装束の柄や、松園の絵には珍しい下ぶくれの顔など、古典文学や古画などから得た有職装束の確かな知識が反映されています。

紫式部女士，是「源氏物語」作者。上村松園對於古典文學與古畫的知識，皆反映於本畫作的服裝與臉部結構上。

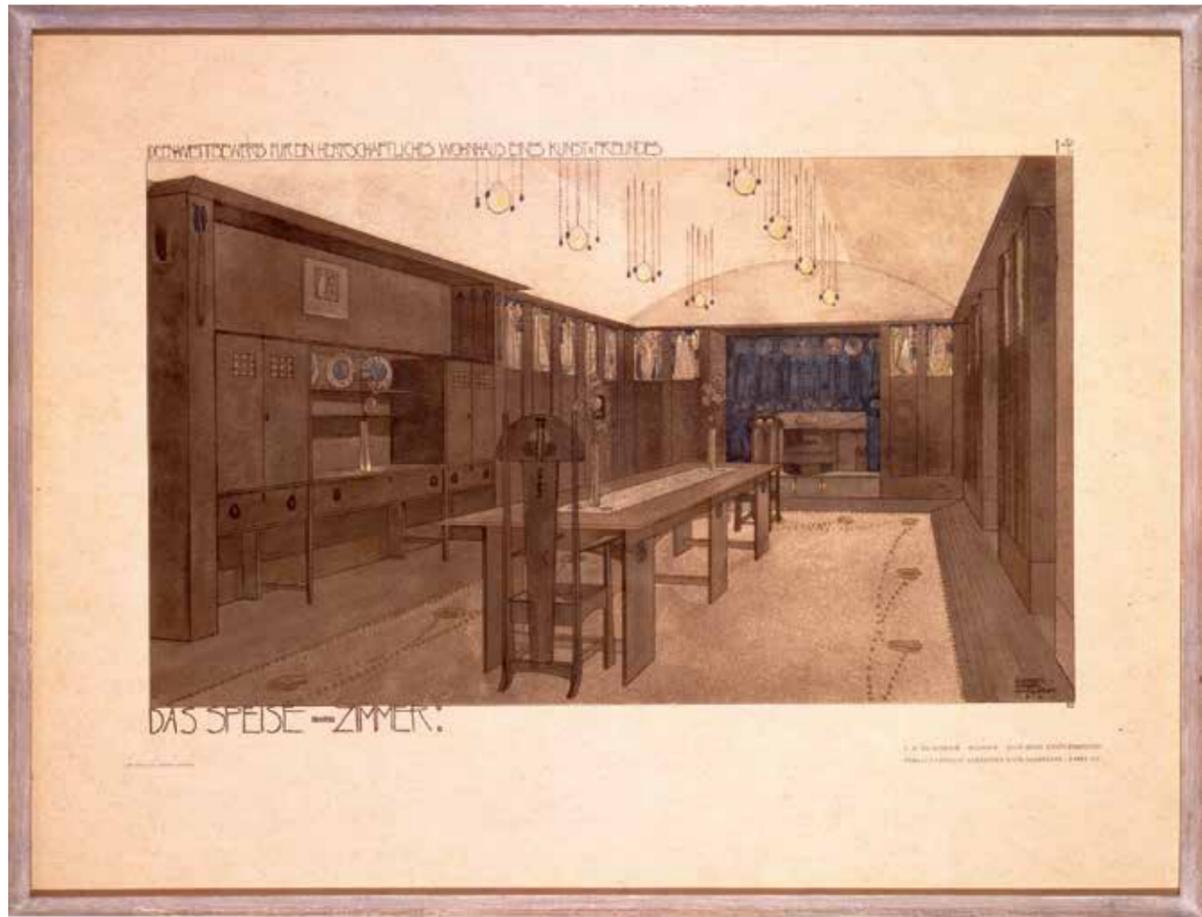
ジョン・ストーンボローと
マーガレット・ヴィトゲンシュタインの
結婚記念時計
コロマン・モーザー
1905年

Margaret Stonborough-Wittgenstein 與
Dr. Jerome Stonborough 的結婚紀念時鐘
Koloman Moser
1905

モーザーはオーストリアにおいて、日常にある実用品の芸術の刷新を掲げた一人です。この時計はモーザーが所属するウィーン工房のパトロンから依頼され制作されました。直線的なデザインと贅沢な装飾は、後のアール・デコの発展を予告する前触れともいえます。

Koloman Moser 是日常生活用品的藝術創意家，本作品是 Koloman Moser 為店裡顧客所製作的時鐘。直線與豐富細膩的裝飾，已預告裝飾風藝術 (Art Deco) 的基調。





ダイニングルームのためのデザイン「芸術愛好家の家 II」
 チャールズ・レニー・マッキントッシュ
 1901年

「藝術愛好者之家」的餐廳設計圖
 Charles Rennie Mackintosh
 1901

マッキントッシュは、身近な住宅と商業スペースを舞台に、その建物の環境から外装、内装、インテリアをトータルにデザインすることを目指しました。このデザインはマッキントッシュが「芸術を愛する者のための壮観で大規模な邸宅」がテーマの住宅計画のコンペのために制作されました。

藝術愛好者之家，是麥金塔（Charles Rennie Mackintosh）參加建築設計比賽，為藝術愛好者設計的 14 件大規模奢華豪宅計畫。身為住宅與商業空間設計人，麥金塔從外部的建築物、環境，直到內部的裝潢、家具等，皆一一詳盡畫出。



チャールズ・レニー・マッキントッシュの部屋

Charles Rennie Mackintosh 麥金塔展示間

飛騨高山美術館の「マッキントッシュの部屋」は、「芸術愛好家の家」のデザインからダイニングルームを具現化しています。グラスゴウのピアス・ケトルウェル商会と当館の共同デザインのもと、新たに考証した原案に基づいて制作されています。

飛騨高山美術館内の麥金塔展示間，是根據麥金塔設計的「藝術愛好者之家」所作的空間展示。Piers Kettlewell Cabinetmakers 公司與飛騨高山美術館盡可能忠於原設計，聯手完成此展示間的擺設。

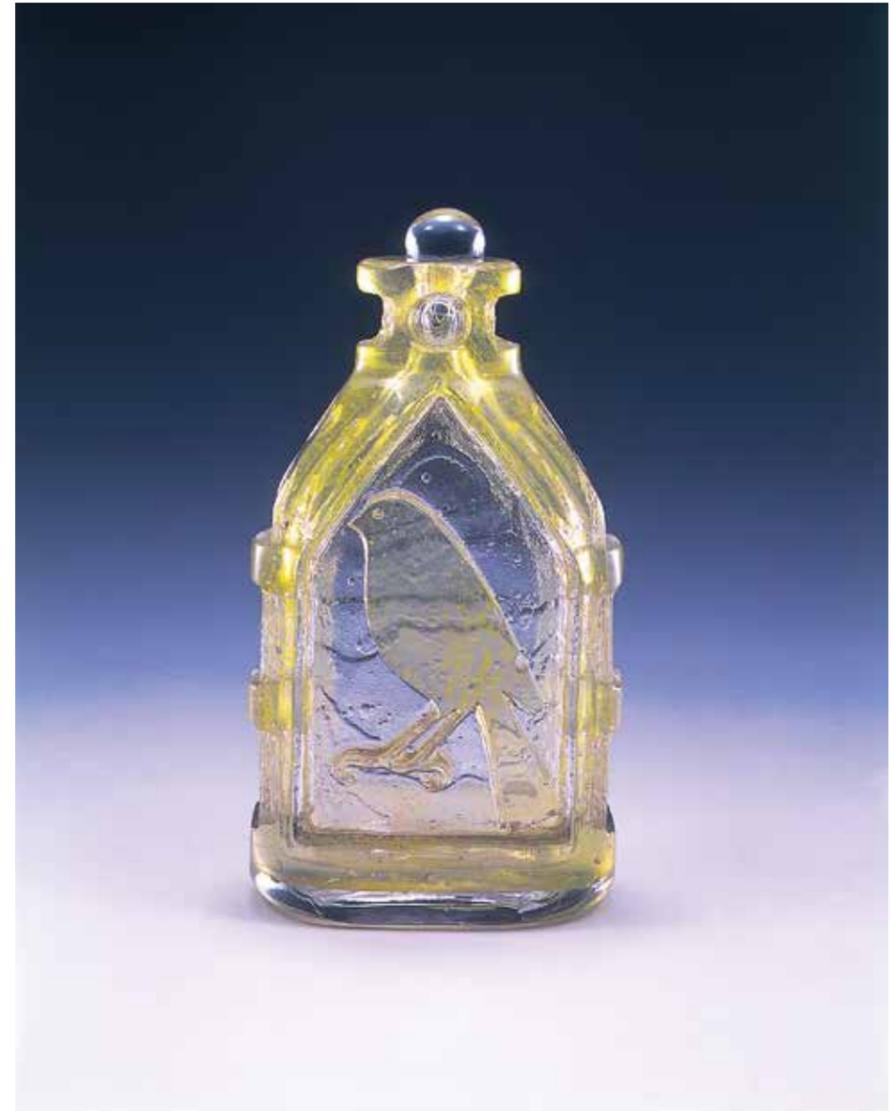


ジャック・イン・ザ・パルピット
ルイス・カムフォート・ティファニー
1918年頃

“Jack-in-the-Pulpit”花瓶
Louis Comfort Tiffany
1918

ルイス・カムフォート・ティファニーは、アメリカにおけるアール・ヌーヴォーの時代を代表するガラス芸術家の一人です。ティファニーはガラスに金属素材を取り入れ、玉虫色に輝くような光の反射を実現させました。

L. C. Tiffany 是美國新藝術運動中具代表性的玻璃藝術家，她的作品以結合金屬素材所產生的虹彩色澤著稱。



カナリア文小瓶
モーリス・マリノ
1925年頃

Flacon Quadrangulaire à Angles 玻璃小瓶
Maurice Marinot
1925

フォーヴィズム（野獸派）の画家のモーリス・マリノは、近代のガラス芸術を牽引したガラス芸術家の一人です。マリノは自らガラスを吹き、絵付け、削り出しなどの様々な技法を探究し、ガラスの色や気泡、肉厚的な彫りの細工などの独自のガラス芸術を確立しました。

野獸派畫家 Maurice Marinot，也是近代玻璃藝術的帶領創造者。Maurice Marinot 在無模人工吹製玻璃上，運用搪瓷、蝕刻等各種技法，樹立了線條渾厚、冷光色調、氣泡玻璃等個人風格。

19世紀末、ヨーロッパで華麗に花開いたアール・ヌーヴォー様式。それは、ガラス工芸のみならず、家具や照明器具など日常生活のデザインにも取り入れられ多様な美の展開を見せました。飛騨高山美術館では、それらの装飾芸術にスポットを当て、またその後続くアール・デコや現代ガラスまで、約1,000点の作品を収蔵しています。

飛騨高山美術館收藏約1000件藝術作品，包括傢俱、玻璃工藝、照明器具等日常生活所使用的物件，風格涵蓋了19世紀末的新藝術運動、20世紀初的裝飾風藝術，以及現代藝術作品等。



フランスの薔薇
エミール・ガレ
1900年頃

“法國薔薇”花瓶
Emile Gallé
1900年間

無機質なガラスに生命を宿すエミール・ガレの技術が随所に散りばめられた作品です。つぼみの鮮やかな赤色、深い森の中のような青色など、豊かな色彩をガラスで表現したガレ最高傑作の作品の一つです。

從花瓶的各個角度欣賞，都可看出 Emile Gallé 對作品所注入的生命力；花蕾的鮮亮赤紅、記憶中森林深處的藍與綠，色彩相當豐富。



飛驒高山美術館
HIDA TAKAYAMA MUSEUM OF ART



平成30年度 文化庁 地域と共働した
美術館・歴史博物館創造活動支援事業
2018 年由日本文化廳美術館、歴史博物館計劃補助
美術館為中心的多國語言國際計劃